

体験授業概要



私たちの文化を測定してみましょう

科目：異文化間コミュニケーション

ネイサン・ダッカー 教授

異文化と出会うときに、本当に必要なこととは？

自分とは異なる文化を持つ人と出会ったとき、スムーズに意思疎通を図るためには何を学ぶべきでしょうか。言葉、地域の**法律**、それともその国の**マナー**でしょうか？本講義では、一見しただけでは分からない「コミュニケーションの深層」を解き明かします。親子で参加する体験型のワークショップを通じて、私たちが無意識に持っている「当たり前」を問い直し、多様な背景を持つ人々と真に繋がり合うための「学びのヒント」を一緒に探してみましょう。

What Do We Really Need to Learn to Communicate Better?

When you meet someone from a different culture, what should you learn to ensure smooth communication? Is it the language, the local **laws**, or the country's **manners**? This session dives into the "deep layers of communication" that aren't visible at first glance. Through an interactive workshop for students and parents, we will question our own unconscious "common sense" and discover the essential keys to truly connecting with people from diverse backgrounds.



地震・津波の初期情報，あなたは信じますか？

科目：自然災害と防災・減災

山下 裕亮 准教授

地震が発生すると、気象庁は約3分で「津波の有無」を発表します。『この地震による津波の心配はありません』と発表があれば、多くの方が安心するでしょう。しかし、場合によっては数分後に「津波注意報」が発表されることがあります。また、最初は「津波注意報」だったのに、数分後に「津波警報」に格上げされることもあります。なぜこうしたことが起こるのでしょうか？その背景には、いくつかの理由がありますが、ポイントは情報の「不確実性」です。

この授業では、地震発生時の気象庁からの初期情報に潜む不確実性とその原因について解説し、地震・津波情報を受け取る際の注意点を理解するとともに、どのように行動すべきかを考える時間にできればと思います。